



カスミのSDGs

地域のリサイクルと森林再生

廃棄物の削減と植樹活動に取り組んでいます

SDGsでは食品廃棄物の半減など廃棄物の大幅な削減、森林再生や新規植林の大幅な増加という目標が掲げられています。カスミは販売期限外でも賞味期限のある食品のフードバンクへの寄付や地域循環型農業への利活用、資源物の店頭回収によるリサイクルの促進、植樹活動などを通じ、食品廃棄物の削減、森林再生に取り組んでいます。

課題

- 食品廃棄物のさらなる削減と利活用
- 地域の廃棄物のさらなる削減
- 地域における植樹活動のさらなる拡大

目標

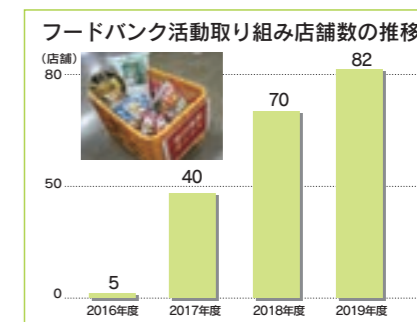
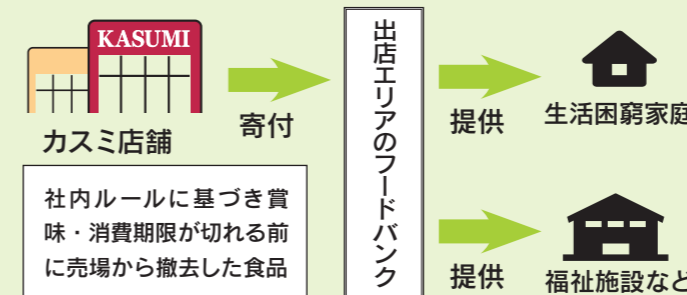
- フードバンク実施店舗
[82店舗(2019年度)→100店舗] **拡大**
- 店頭資源回収量
[2,922t(2019年度)→3,300t] **拡大**
- カスミ共感創造の森での植樹活動の **継続**



地域社会と共に進めるカスミのフードバンク活動

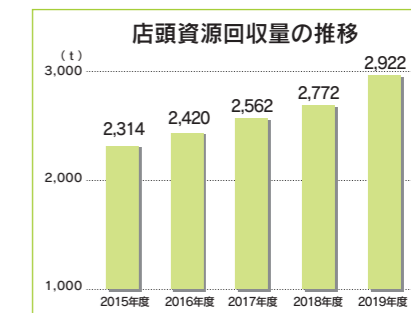
販売管理のために売場から撤去した賞味期限・消費期限前の食品を、出店地域のフードバンクや社会福祉協議会を通じて生活困窮者や子ども食堂へ贈る活動を、2020年2月末現在82店舗で実施しています。

カスミの食品寄付の仕組み



カスミ店舗にある地域のリサイクル拠点 リサイクルステーション

地域のお客さまの協力を得て、牛乳パックやアルミ缶・スチール缶、食品トレイ、透明容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、古紙など資源物の回収を行っています。



ふるさとの森に木を植えています カスミ共感創造の森

ふるさとの森を次世代に引き継ぐため、2011年から茨城県笠間市の「カスミ共感創造の森」で植樹を実施。2019年までの9年間に毎年植樹祭を開催、お客さまや従業員など延べ4,569人が参加して23,316本の木を植えました。

